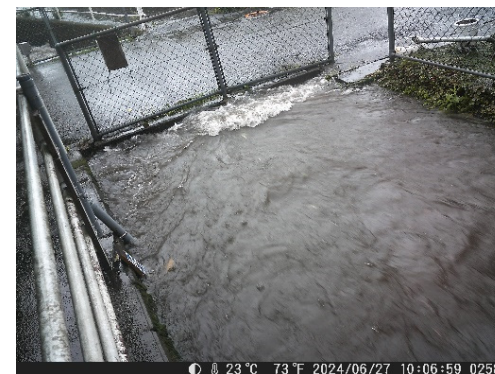


令和6年6月20日大雨

○令和6年6月20日の梅雨前線による出水から、8月28日の台風10号にかけて4回、串良川流域で内水常襲地帯である鹿屋市串良町岡崎地区にて5台のカメラを設置し、内水状況の把握に努めた。

○現場の対応としては、気象状況を適宜確認し、特に台風10号の際は、急な進路予想の変化により、直前の作業になったにもかかわらず迅速にカメラを配置し、内水の状況を把握した。

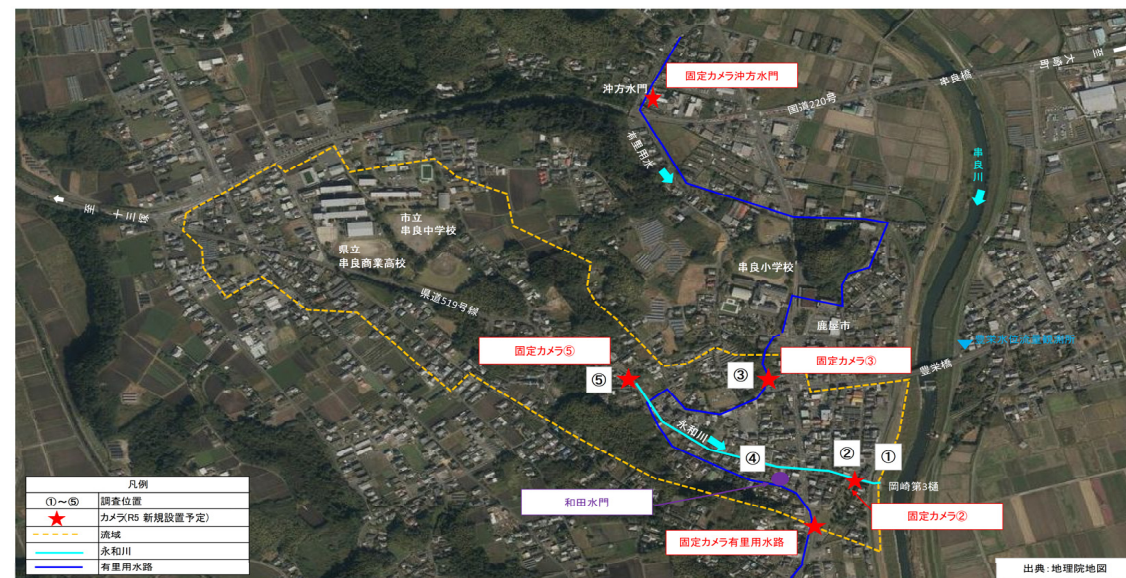


永和川6月27日 10:06



沖方水門カメラ 8月28日 19:58

活動箇所図等



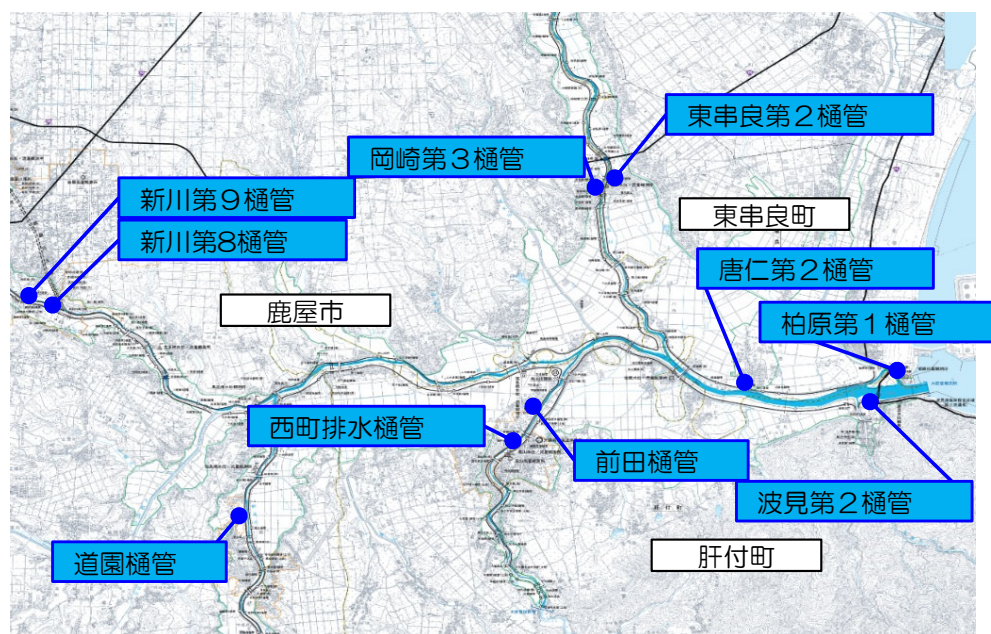
(株)丸建技術 上村氏

○台風予想進路が前日に九州方面になり、時間的に余裕がなかったが何とか作業員を参集し、現地にカメラを配置し、データ収集ができました。

○令和6年6月20日～6月21日梅雨前線豪雨や令和6年8月台風10号に伴う大雨による浸水被害軽減に備え地元自治体からの要望を受け事務所保有の排水ポンプ車7台を派遣した。

○大隅河川国道事務所の災害時協定業者7社により排水ポンプ車7台を肝属川流域1市2町に派遣し、豪雨・暴風下において排水対応を実施し浸水被害軽減に貢献した。

【協定業者：(株)吉留組・肝付土建(株)・(株)田中産業・山佐産業(株)・(有)山之口建設・(株)倉岡建設・国基建設(株)】



【(株)吉留組】

前線に伴う大雨(豪雨)により、肝属川水系肝属川が水防団待機水位えを出動指示があり排水ポンプ設置個所周辺は県道灌水及び住宅地・耕作地等が灌水していた。灌水地は、海から近く潮の満ち引きが関係があり満潮になるにつれて排水が順流より逆流になり樋管ゲートを締め排水ポンプを稼働させて周辺地域の被災軽減を行った。

・台風10号より出動指示があり暴風雨中設置個所まで移動待機していた。風が強く雨が霧状となり周辺状況の確認が出来ず危険を感じた。待機車両も転倒しそうな為風裏に緊急避難した。排水ポンプ稼働後は1時間おきに量水標確認し樋管ゲート開閉まで排水を続けた。

【国基建設(株)】

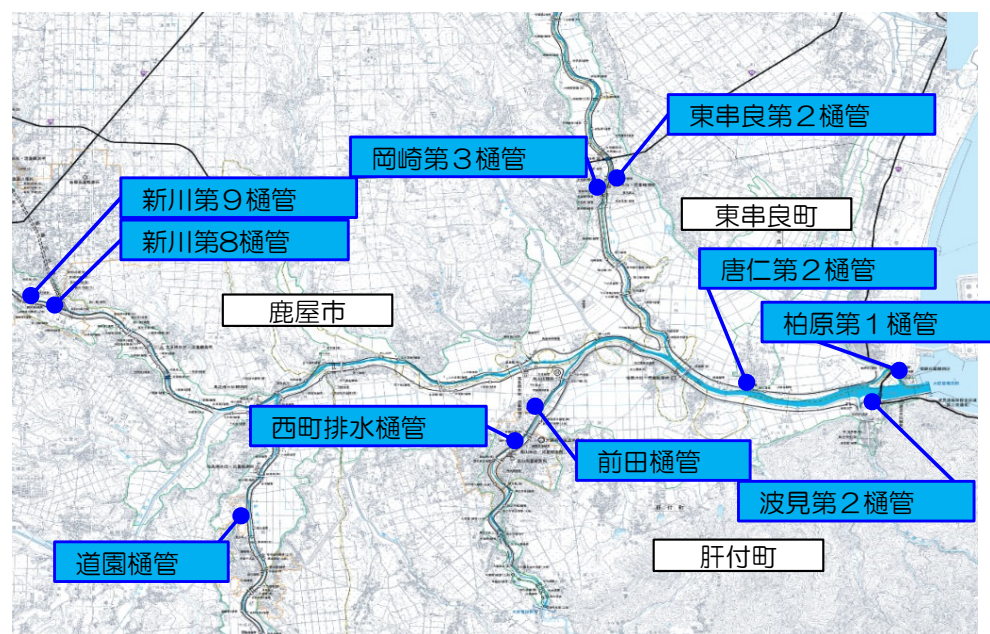
今年の台風10号は水位が上がったのが夜となって午前1時好すぎの出動となりました。その時間は雨はそこまで強くなかったが、風が強くて堤防上では立ってられないくらいでした。また堤防上は暴風で体が飛ばされるほどの危険な状況でよじれた排水ホースを修正するのも身の危険を感じるほどでしたが地域の浸水被害軽減に尽力しました。



○令和6年6月20日～6月21日梅雨前線豪雨や令和6年8月台風10号に伴う大雨による浸水被害軽減に備え地元自治体からの要望を受け事務所保有の排水ポンプ車7台を派遣した。

○大隅河川国道事務所の災害時協定業者7社により排水ポンプ車7台を肝属川流域1市2町に派遣し、豪雨・暴風下において排水対応を実施し浸水被害軽減に貢献した。

【協定業者：(株)吉留組・肝付土建(株)・(株)田中産業・山佐産業(株)・(有)山之口建設・(株)倉岡建設・国基建設(株)】



【肝付土建(株)】

梅雨前線豪雨や令和6年8月台風10号に伴う大雨により、始良川増水に伴い内水が氾濫し、家屋、病院、店舗等が浸水被害の恐れがあり、暴風に恐怖を覚えながらも内水排除作業を行いました●8月の台風10号の接近に伴い、浸水被害軽減の為に排水ポンプ設置・現場待機を行いました。現場では、思いのほか風が強くなり時より停電が発生し、水位上昇とともにポンプ稼働が心配な状態でした。

【(株)田中産業】

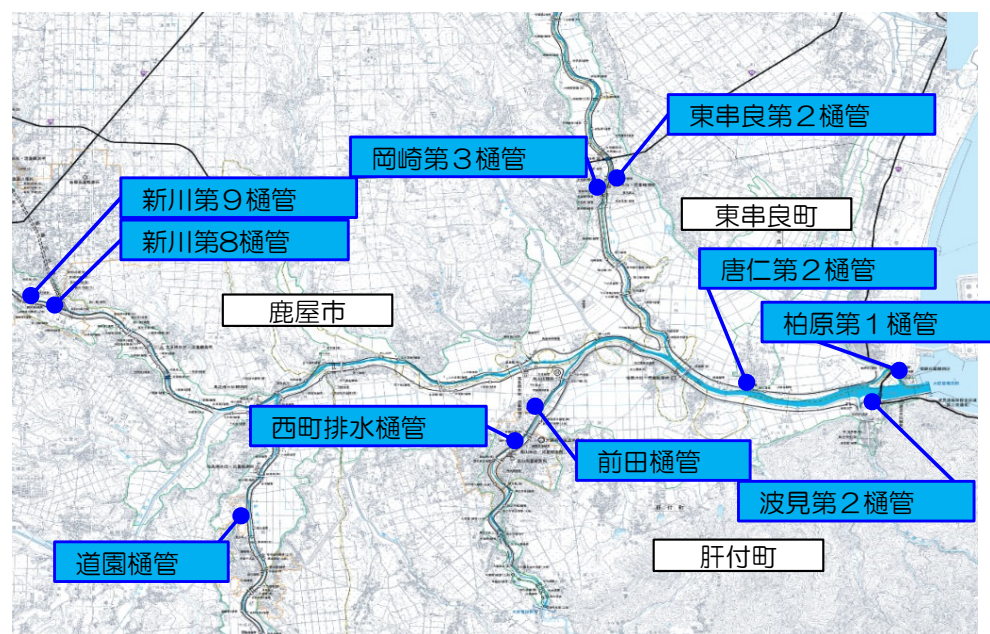
幸いにも水位が落ち着いたので何事もなく済みました。樋管の水位監視の方も夜通し作業され、今後の災害防止の為にも周りとの協力のもと少しでも災害が軽減できればと思います。



○令和6年6月20日～6月21日梅雨前線豪雨や令和6年8月台風10号に伴う大雨による浸水被害軽減に備え地元自治体からの要望を受け事務所保有の排水ポンプ車7台を派遣した。

○大隅河川国道事務所の災害時協定業者7社により排水ポンプ車7台を肝属川流域1市2町に派遣し、豪雨・暴風下において排水対応を実施し浸水被害軽減に貢献した。

【協定業者：(株)吉留組・肝付土建(株)・(株)田中産業・山佐産業(株)・(有)山之口建設・(株)倉岡建設・国基建設(株)】



【山佐産業(株)】

出勤要請にあわせ家庭の対応を早急に行い、地域のために大雨・強風の中、内水排除作業を行いました。久し振りの危険水位となり、緊張感を持って対応しました。

【(有)山之口建設】

8月29日昼夜にかけて台風10号が上陸し大雨により付近一帯が浸水しました。事前に設置していた排水ポンプで排水作業を行いました。雨と風が非常に強く現場での操作等は困難で怖かったです。特に夜は周りが見えないうえ音だけが大きくなり非常に恐怖でした。明るくなると自分たちの作業が目に見えて効果を実感できほっと安堵しました。






【(株)倉岡建設】梅雨前線、台風10号の発生に伴い肝属川の波見第2樋管にて排水作業を行った。現地は、河口が近く前線、台風接近間近では、到着できないであろうと思われ、事前に安全な場所にて待機し出水状況に応じて排水を行った。



○(被害状況): 令和6年6月21日5時30分頃、降雨の影響で斜面崩壊が発生した。延長約100m、高さ45m、崩壊土量約900m³の被害規模で、鹿児島市喜入前之浜地区の国道226号へ土砂等が流入し、人身は無しで乗用車2台が物損した。

○(対応状況): 一刻も早く通行規制を解除するため、土砂搬出、大型土のう201袋設置等を24時間体制で実施した。



	建設サービス(株) 鹿児島営業所 川畑 康昭 氏	国道226号の斜面崩壊による流出土砂撤去作業後の路面清掃を施工しました。各業者の協力により早期復旧ができたことに誇りを持ち、今後も道路維持管理に努めて参ります。
	福地建設(株) 小田原 哲郎 氏	維持業者として災害対応中に緊急要請の連絡が入り即座に人員配置及び役割分担を取り決め流入土砂を硬化させる資材の積み込み・運搬・荷下ろしを行いました。運搬ルートの渋滞で4時間の時間を要しましたが無事故で対応でき、また無災害で通行規制解除できたこと嬉しく思います。
	(株)加覧組 新谷 廉 氏	緊急出動要請の連絡を受け、自社車両をフル活用し、大型土のうを88袋運搬しました。復旧作業にあたった方々全員の協力で、無事故で終えれたことが一番よかったと思います。
	(株)藤田組 前山 大雄 氏	降雨による斜面崩壊災害で協力会社と共に昼夜、二次災害を起こさないよう安全に配慮しつつ、復旧作業を進め、作業員全員が無事故で無事に開通することができました。
	(株)鹿大丸 二之宮 隆久 氏	緊急出動要請の連絡を受け、照明車の運搬及び運営を行い災害復旧作業が安全かつ迅速に作業が終えられるよう支援をしました。
	米盛建設(株) 前田 宏之 氏	土砂災害復旧作業への要請を受け現地へ向かい、流出した土砂の搬出作業を行いました。管内の災害協定締結業者と共に復旧作業を進め早期の規制解除に努めました。
	大保建設(株) 今村 裕人 氏	県民の生活道路である国道226号の早期解放に向けて、協力会社と連携し復旧作業を行いました。深夜までの作業となりましたが、無事開通でき嬉しく思います。
	(株)後迫組 西野 彰一郎 氏	自社の大型重機と作業員を現地に投入し、復旧作業の指示を受け、他業者さんと協力しながら作業しました。無事故で早期の通行再開ができ、なによりでした。
	坂本建設(株) 川田原 翔伍 氏	国道事務所よりの出動要請の連絡を受け作業班を編成し現地へ向かいました。現場で事務所職員の方より、作業に当たり注意事項等の説明を受けて作業を開始すると共に二次災害の恐れがあった為に、見張り員を配置して作業に当たりました。早期の道路開通を目指し復旧作業を進め、無事故で開通する事が出来大変嬉しく思います。

- (被害状況): 令和6年6月21日5時30分頃、降雨の影響で斜面崩壊が発生した。延長約100m、高さ45m、崩壊土量約900m³の被害規模で、鹿児島市喜入前之浜地区の国道226号へ土砂等が流入し、人身は無しで乗用車2台が物損した。
- (対応状況): 一刻も早く通行規制を解除するため、迅速な現地調査、復旧工法の提案を実施。



斜面崩壊箇所

至 指宿市



斜面崩壊

至 鹿児島市街地

土砂搬出



照明車設置



鹿児島226号 大型土のう設置

復旧完了





活動写真



UAV調査



現地調査



復旧工事活動者と打合



測量



大福コンサルタント(株)
中島 太 氏

道路の通行止め期間の最小化に寄与するため、速やかに被災箇所のUAVによる写真撮影や現地踏査を行い、被災原因の推定や本復旧工法の提案等を行いました。